

会報 京都マイコン研究会

ニュースorトピックス

蒔かぬ種は生えぬ

編集部 増田

ときたま、私宅へ武田さんが来られますが、手土産に自家菜園で栽培した取れたての新鮮な野菜類をいただきます。母親が「おいしい！」とすごく喜んでいます。この「おいしい！」の源は汗をして、土壌を耕し種を蒔いたからです。

全てのことと言えることですが、コンピューターでも同じです。日々の努力と先行投資なのではないでしょうか。

私たちの会にも「死に金」が幾らかあるようですが、企業では、「先行投資や試験研究費」巷では、「蒔かぬ種は生えぬ」と言います。これから「死に金」をどのように私たちの活力（エネルギー）に転嫁させるか明確にしたいところです。

パソコン暦の浅い方々にも言えることですが、初心者から一歩踏み出すのは、他人から教わるのではなく「あなた自身」にあるのです。

あなたの自身のたゆまない努力が次のステップへ行くカギなのです。これは、先に記載しました「土壌を耕す」にも値し時間と言う目に見えない物を代償にしているのです。

「ステップ by ステップ」先の先は、こればかりなのです。

私共々皆さん、頑張って下さい。としか言いようが無いですね。（アドバイスは人それぞれ得意分野がありますので教授下さい。）

私が以前にも記載させて戴いてます「知識は、お金や物では買えない」なのです。

以上。

次回、第27回パーソナルコンピュータ利用技術者認定試験は12月1日（日）に実施される予定です。

新規加入会員

4~5人おられます、確定していませんので次回例会に参加していただきます。

第109号

1996年8月1日 発行

発行人 圓口佳昭

事務局 京都府八幡市八幡城之内20
TEL/FAX 075-981-0063, 982-8064
nomasuda@mbox.kyoto-inet.or.jp

例会報告

7月6日 (pm. 6:00) 大山崎ふるさとセンター

参加者氏名 圓口、岩井、中辻、若井、加藤、中西洋
増田、河原、若林、溝口、吉川 11名

内 容 ●パーソナルコンピュータ利用技術者認定試験について

パソコン認定試験報告

日時 平成8年7月21日（日）午前10時より

会場 京都社会福祉会館

監督官：若林、圓口、中西洋、加藤、若井、
岩井、中辻、小寺、増田、他5名 14名

受験 4級・3級

人数 約500名

監督官として毎回ご協力いただいている皆さん、今回は特に受験者数が大変多くご苦労様でした。（事務局）

次回例会

8月3日（土）(pm. 6:00)

日時 大山崎ふるさとセンター

場所 6:00 マイコンサロン

内容 19:00 新規入会者をはじめた講習

9:30 終了

会計からのお知らせ

1996年度会費の未納の方は至急納入下さい。

当会では、納入限月より3ヶ月を経過しますと例外を除き会報の発送と会員の資格を失いますのでご注意下さい。

納入方法は

会計 中辻 氏 又は、

事務局までお問い合わせ下さい。

LANネットワークの仕組みと接続

No. 2

by 圓口

2. 通信のネットワーク技術

合宿のあと、7月に新製品が発表され100BASE-Tが標準装備の富士通、NEC製品が出てきました。当然10BASE-Tの接続も可能(伝送スピードが10Mbpsに落ちるだけ)です。

パソコンとパソコンをデーター通信で結ぶのですから、データー信号のやり取りが必要になりその場合、传送部での条件でノイズなどで誤った信号が入ったときそのデーターを最送信して正しい内容にする仕組みが必要になります。

ネットワークによるデーターは8ビットを単位としてオクテット(Octet)で表わします。暗記するしかありません覚えて下さい。

転送するためにデーターを転送パケットとしてデーターを46から1500オクテット単位で転送します。そのフレームは次の7つの部分に分けられています。

プリアンブル部(7 オクテット)

クロック同期のため「1」「0」の繰り返しパターン
フレーム開始部(1)
「10101011」固定

送信先アドレス部(6)

送信する相手のMACアドレスでLAN機器のROMまたはEPROMに書き込まれて送受信のアドレス(相手確認)に利用されます。

特殊な利用として「1111…1111」は一斉同報

「01…」はローカル管理アドレス指定

送信元アドレス部(6)

MACアドレスは24ビットがメーカー固有の番号でこの番号登録はIEEEで行なわれたとえば富士通は(00-00-0E)で残り24ビットが管理用で製品種別と製造番号で管理されているようです。LANボード1枚に対して固有のアドレスが割り当てられることになります。

データー長部(2)

データーの長さを表わしますが、IPXパケットではタイプ部として利用され、TCP/IPのIPプロトコルでは「0800」が、NetWareのIPXプロトコルでは「8137」が入ります。

データー領域部(46~1500)

データー領域ですが、様々な伝送方式が開発され、タイプ部での宣言によりデーター部一部を拡張利用し、ソフトウェア処理により様々な規格の伝送方式が利用されるように工夫されています。

フレーム・チェック部(4)

誤りビット検出用で传送先部からデーター部までのCRC計算類で送受信時にデーター受信に対し計算して受信に誤りがないかチェック、一致しないときはエラーとして最送信要求した「データーの破棄をします。

(次回は電気的仕組み)

新規インターネット接続された方

事務局調査

若井 征夫 氏	京Iネット	最新情報のため不明です。
大塚 勇 氏	京Iネット	最新情報のため不明です。
圓口 佳昭 氏	maruguchi@mx.biwa.or.jp	

新規インターネット接続された方事務局まで[Eメールにて]お知らせ下さい。

事務局 メールアドレス nomasuda@mbox.kyoto-inet.or.jp です



1. 「インターネット ザ・国際人」 の紹介 副題:英日翻訳支援ソフト トランスソーターEJ

中西(秀)さんから提供して戴いた、その試用結果をお知らせする。昨年、秋に某展示会でデモを体験していたので、わくわくして使ったところ、次のようなことで行き詰まつたことを紹介する。

1) ブラウザが起動しない。

本ソフトを起動すると同時にブラウザ(例:Netscape NavigatorやMS-Internet Explorer)が起動できる。その環境設定において、ブラウザのデイレクトリをセットできるところに、深い階層のデイレクトリを設定するとエラーが出る。一方、浅い階層では問題なく起動する。

2) 同時翻訳ができない。

デモで体験したときは、ブラウザ画面で英語の文字列の場所に翻訳した文字列が出たのに、今回は、一旦、クリップボードへコピーして、別の翻訳窓で読むことになった。

別途、あちこちと調べたら、Proxyサーバーをセットすると同時翻訳が出来そうに気づいたが、小生が接続しているプロバイダはProxyサーバーを公開していない。そのプロバイダから、「NetSurfer/ej」を紹介された。少し、高価であるが試して見たい。

2. チラシ広告

新聞とともに配達される差し込みチラシに「パソコン(メーカー不問)セッティングいたします」や「Windows 95の操作教室」などの広告が目に付くようになった。これらの指導料金を見ると目が◎や▲になりそう。

3. PC98シリーズCanBeの通信機能

CanBeシリーズが売り出されてから、他社およびフリーのソフトをインストールしたら動かないと度々、聞かれる。その対策の例を「日経MIX」の会議室から転載する。(他への転載禁止)

pc9800/new.machine 1196番, hiro_yam から, 770 文字, Wed Feb 14 06:03:59 1996
このメッセージへのコメントがあります。

標題: Help! CanBeのモデムが使えません。

弟がCanBeのWin95モデルを買ったのですが、モデムが使えずに困っています。ハンズフリーホン機能は使える

のですが、MSN、PC-NAV、秀Termなどを使おうとすると、「ポートは使用中です」みたいなメッセージが出てモデムにアクセスできません。表面上は、98ランチ以外のアプリは動いていない状態です。コンパネのモデムプロパティでも、同じようなメッセージボックスが出ます。何が原因なのでしょうか?

機種はCX3というのかな? ディスプレイ別体のやつです(最近の機種はフォローしきれません^^);) モデムは標準内蔵の14400で、COM3に割り当てられているようです。とにかく、買ってそのままの状態だと思います。

サポートに電話しても全然繋がらないと泣き付かれたのですが、私にも原因がわからないので、困ったときのMIX頼みです。よろしくお願ひします。■()■ hiro_yam

===== pc9800/new.machine 1198番, hiro_yam から, 460 文字, Wed Feb 14 20:50:34 1996

どうもありがとうございます。■()■
> 内蔵モデムって、Windows95のときはCOM2になるのではありませんでしたっけ。

そうなんですか? コンパネのシステムで見るとCOM3になってるんですけど、すでにそこからしておかしいのかな?

ところでこの話題、のままここで続けて良いものでしょうか? 問題がWin95の設定なのかCanBeの設定なのか分からなかったので、とりあえず新機種の動作についての質問だからと思ったのですが、まずかったら場所を変えます。よろしくお願ひします。

hiro_yam

===== pc9800/new.machine 1199番, hiro_yam から, 1027 文字, Wed Feb 14 22:09:37 1996
これは 1198へのコメントです。

と言いつつ、追加です。まず、機種はCX3/S7Mだそうです。

電話口で操作させたのですが、コンパネのシステム->デバイスマネージャで見ると、ポート(COM/LPT)としてはCOM2までしか出てきません。でもって、モデムの方は内蔵FAXモデムが登録されているのですが、そのプロパティ->モデム・タブを開くと、ポートのところがリストボックスになってなくて、ただのラベルとしてCOM3と書いてあるそうです。良く分からぬのが、リストボックスでもエディットボックスでもないのに、キャレットが表示されていて、範囲選択もできるそうなのです。試しに3のところを反転させておいて2をタイプさせたのですが、修正はできないとのことでした。

何がなんだか良く分からんのですが、こういうものなのですか?

ちなみに、今日も1日中電話をかけ続けていたようですが、サポートにはつながらなかったとのこと。98

を強く勧めた手前、なんとか助けてやりたいのですが、どなたもご存じないということは、例外的なトラブルなんでしょうか？もっとも、自分でCanBe使ってMIXENがいるとは、私も思ってませんけど…(^^;) お手上げ状態ですので、どうぞ引き続き情報をよろしくお願ひいたします。

hiro_yam

===== pc9800/new.machine 1202 番, hiro_yam から, 544 文字, Thu Feb 15 09:39:39 1996
これは 1199 へのコメントです。

先ほど弟から電話があって、自己解決したそうです。(^^;)

原因は、例のハンズフリーホンでした。こいつに「回線を使用する」というボタンがあり、それを解除したらモデムが使えるようになったとのこと。なるほど、家電機能はOSより下位のレベルで管理しているから、アプリが動いてポートオーブンするという訳じやないんですね。言われてみれば当たり前か。

Win95とCanBe、ふたつのブラックボックスが融合したところは、とても私などの知識の及ばぬ謎の深淵です。これを使ってる初心者ってすごい…。(^^;)

どうもありがとうございました。> kodakoda, cancer, h_kita

hiro_yam

4. 10年目を迎えたパソコン通信

インターネットが急速に拡大して、テキスト文字だけの大手のネット通信も熾烈な競争の中へ生き残りをかけて参入している。例えば、PC-VANとmesh, The Cyber Plazaとパソ通、インターネット、マルチメディア情報サービスの提供会社が3社の異なる機能をユーザが任意に使えるサービスを行うようになった。しかも、3社共通の料金体系で加入でき、それに加入していたIDやパスワードが使える内容となった。また、3社専用のブラウザが起動できる通信ソフトも無料で提供して固定客を掴むサービスも始まっている。

やはり10年は一昔前の時代となった。こんなに早く合体したサービスが受けられるなんて夢が実現したのが嬉しい。

蛇足になるが、10年間のパソ通を通じての体験を記す。

1) 故入江さんとの交際

京都在住のときは、例会以外の交際が無かったが、横浜へ転宅されてから、入院されるまで、毎週、個人メールでやりとりした。このときは、本当の裸のお付き合いとなった。

2) 個人メールの交際

某ネットのボードで遊んでいるうちに、個人的に入江さんと同じような交際が始まった。この付き合いは、早くも4年ごしである。でも、年齢差もあり、始めは、色について、その材料や色の呼び名などの紹介と個人感想を通じて、気心を知り、現在ではソフトの使い方の指南役

で続いている。

その他に、勤務先のリタイヤした同僚や会社での後輩達と時々、情報交換をしている。

3) 若井さんとパソ通のOFFミーティングでバッタリもう7年も前になるので時効と思い、若井さんとともにないOFFミーティング出会ったことを紹介する。フリー・ソフトで画像のユーティリティなどバイナリ通信が不便な時に必要であったソフトを手に入れたSIGのOFFミーティングが開かれたのです。このOFFミーティングは若井さんが参加していたSIGとの合同で、後から会場入りした若井さんとバッタリ。そこで、若井さんの趣味を知ったのです。また、オンラインで囲碁に夢中であることやオンライン用の囲碁ソフトが実在していることを知った。何故、合同であったかと言えば、故人であるが、その当時のSIGオペの奥さんが京都地区の囲碁のSIGオペであったことから、若井さんと当会以外の場所であったのです。

その他にも話がありますが、今回はここまで。

===== 日経マルチメディアの配信メールの紹介 (tomoppy)
=====

MESSAGE from nmm@nikkeibp.co.jp [07/15/96 14:37:13]

日経マルチメディアの読者向けニュース配信サービスです。

● ご意見ご要望などございましたら、nmm@nikkeibp.co.jp

(日経マルチメディア編集部)までご一報ください。

Nikkei Business Publicaitons, Inc. (Tokyo Japan)
[WWW homepage URL] http://www.nikkeibp.co.jp/NMM/

===== 96.06.24

■毎日新聞社がメールによる情報配信サービス開始

■7月1日から有料申し込みを受け付け

毎日新聞社は7月1日から電子メールを使ったニュースなどの情報配信サービス「Jam Jam Daily Mail」を開始する。料金は6カ月契約で3000円(消費税別)。7月1日から申し込むと7月分は無料で、8月1日から97年1月末までの6カ月のサービスを受けることができる。

配信する情報はインターネット関連の各種情報を提供する「インターネット情報」が中心となる。国内で収集したインターネット関連情報のほか、世界各地に在住する26人の邦人が電子メールやホームページで収集した情報を掲載していく。インターネット情報のほか、毎日新聞の記事を1本あたり150文字に要約した「ダイジェストニュース」(「総合」、「政治」など6ジャンル)、パソコン関連雑誌目次の要約や企業のニュース・リリースなどを提供する「ダイジェスト情報」(3ジャンル)も合わせて配信される。ダイジェストニュース

とダイジェスト情報に関しては、購読者が契約時に全9ジャンルから選んだ2つのジャンルのニュースだけが配信される。当面、購読者は2つ以上のジャンルを選択できない。

配信頻度は「インターネット情報」が月曜日から金曜日までの週5日で午後8時の1日1回、「ダイジェストニュース」が新聞休刊日を除く毎日で午前5時と午後5時の1日2回、「ダイジェスト情報」月曜日から土曜日までの週6日で午前5時の1日1回である。合わせて、電子メールで配信したバックナンバーはホームページ「JamJam」(www.mainichi.co.jp) から参照できるようになる。

7月1日から同社のホームページ「JamJam」で有料申し込みを受け付ける。決済方法はクレジット・カード、郵便振替を利用する。クレジット・カード番号は、ホームページからの登録と別にFAXや電話などを使い連絡する必要がある。

広告は題字下などに数本掲載する。広告料金は現時点では未定だが、「部数が伸びれば、広告料金も上げる」としており、部数に合わせて隨時見直す方針だ。97年3月末までに5万契約を目指とする。毎日新聞社は収支の目安は2万契約と見ている。

(松本 敏明)

96.06.26

- MPEG1を再生できるQuickTime2.5
- アップルが6月中にも提供へ

米アップルコンピュータは遅くとも7月上旬までに、QuickTimeの最新バージョン2.5の提供を開始する。同社のホームページからMacintosh版とWindows版の両方をほぼ同時期にダウンロードできるようになる。

QuickTime2.5はデジタル画像圧縮・伸張の標準であるMPEG1データを再生できる。同時にアップルは、これまでベンダーごとに若干の非互換性があったモーションJPEG(ビデオ制作のための標準的な圧縮方式)のファイル形式を有力ベンダーと協力し、標準化を図った。この形式のファイルの再生にもQuickTime2.5で対応する。

QuickTime2.5をインストールしたパソコンでは、ソフトウェアだけでMPEG1データを再生できるようになる。Macintosh用にはMPEG1の有力なソフト・デコーダが見あたらなかつただけに、今後MPEG1データを再生する標準的なツールになっていきそうだ。

(松本 敏明)

96.06.26

- 米マイクロソフト、Windows 97で
- WWWコンテンツなどを背景画面に直接表示可能に

米マイクロソフトは、1年後に出荷する新OS「Windows 97」のデスクトップにWWWブラウザInternet ExplorerやグループウェアExchangeのクライアント機能を統合する。Internet Explorerなどのウィンドウを必要とせず、ActiveXコントロールやJavaアプレットを含む様々なコンテンツが「壁紙」のように直接

表示されるようになる。

デスクトップとは、OSのGUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェース)のうちアプリケーションを表示するウインドウやアイコンなどを並べる背景画面を言う。既存のWindows 95にバンドルされている形のInternet ExplorerやExchangeクライアントは、デスクトップに統合されることで完全にOSの一部になる。ActiveXコントロールなどによりコンテンツに変更があった時点でリアルタイムでデスクトップの表示を変えることも可能。マイクロソフトは「Activeデスクトップ」と呼んでおり、ユーザーがカスタマイズすることもできるとしている。

(木村 岳史)

96.07.15

- 富士通が7月20日からインターネット上で
- テレビ番組情報提供サービス「InterTV」を開始

富士通はシャープと共に、インターネット上でテレビ番組情報や映画情報などを提供するサービス「InterTV」を7月20日から開始する。秋までは試験サービスとして無料で運営し、秋以降に本サービスに移行する。

InterTVは、一週間先までのテレビ番組表をWWWブラウザに表示し、テレビ番組ガイドや、出演するタレントの情報を提供する「TVナビ」、映画や書籍、音楽、レジャー情報などを提供する「暮らしのページ」などのサービスで構成される。

秋の本サービス開始時には、TVナビの機能が大幅に拡張される。当初はTVナビの番組表が対応する地域は関東と関西だけだが、東北や九州、四国などのTV番組にも対応していく。

さらにユーザーが好みに合わせて番組表を自由に作れるようになるほか、番組表を使ってパソコンからビデオ・デッキの録画予約も可能になる。まず、市販の赤外線インターフェースをパソコンと接続し、ビデオ・デッキの受光部に赤外線が届くように設置する。後はWWWブラウザ上の録画したい番組表をクリックすれば、パソコンがビデオ・デッキに信号を送って自動的に録画予約する仕組みだ。秋の本サービス開始までには国内の主要メーカーのテレビ、ビデオのほとんどに対応する予定だ。

録画予約機能は、Netscape Navigatorのヘルパー・アプリケーションの形で、InterTVのホームページ上からダウンロードできるようにする。現段階ではInternet ExplorerなどNavigator以外のWWWブラウザへの対応は未定である。

主なコンテンツの開発とサービス全体の運営を富士通が担当する。秋の本サービスに合わせて、広告事業の展開や課金システムの導入も検討している。シャープは一部のコンテンツの開発と、年内にインターネット接続できるテレビなどの家電を発売するとしている。InterTVのURLはhttp://intertv.or.jp/。

(永井 学)

7月21日

講演

インターネットホーン

講師 中 西 洋 一

From : nakanishi
 Sent : Thursday, July 18, 1996 9:00 PM
 To : masuda
 Subject : (no subject)

増田さんへ

最近はインターネットホーンを使用しています。
 バージョン4.0ではリアルタイムに画面が送受信出来ますし、
 ポイスメールもOKです。正式ライセンスを取りたいのですが、
 インターネットでカード番号を送信するのが不安で取れていません。
 また、一日の接続時間が長くなつた為、今月は1万5千円通話料を
 請求されました。来月は3万越えそうです。そろそろ、対策が必要かも？

会社よりメールを送ります。

中西（毎日会社ではメールを開いています）

中西様へ

合宿から本日までモデムがこけていました。そのため、Eメール及びインターネットが接続不可能でした。河原氏からまたたくさんメールを戴いていると思います。21日のインターネットホーンのお話大変興味を持ちましたので今回の会報にさわりだけ掲載させて戴きます。機会があれば原稿にしていただけませんか。

では、8月3日の例会まで。

まだより

nomasuda@kyoto-inet.or.jp

インターネットホーン実体験講演より

編集部 増田

インターネットホーンとは、パソコンを通じて世界各国にリアルタイムで話が出来る。(但し、相手の方もインターネットホーンを接続してのことと、電話のようにかけられれば相手のパソコンが鳴るというものではない。)

インターネットホーンをかけると、それぞれの趣向に応じて分類分けされているようで、そこには常にアクセス状態で待ち人が待機しているとのことです。私は解かりませんが、チマタで流行りのツウショットなどのようなものであると理解します。

インターネットホーンで接続待機している人は、ジャンル、カントリー、などを表示しながら世界各国からの応答を待つているのだそうです。日本人の待ち人は少ないようですが、その中の一人の中西氏が存在するのはこれまた、彼を待つ常連がおられるそうです。

インターネットホーンでは通信の状況により20%のロスが発生するので世界各国との通信では単語が抜けると意味不明な言葉になり理解に苦しむそうです。

国際電話並に通信が出来るインターネットホーン、データー化されたものをネットワークで利用するのとは少しちがうリアルな感触が得られるのではないかでしょうか。

今回の講演で、さらに進んだマルチメディアの世界がパーソナルなものになって来たことを中西氏が現状紹介と実体験を講演下さいました。

皆さんが興味を持たれていますので、詳しいレポートを中西氏にお願いいたしました。事務局に原稿が入稿されれば、掲載させていただきたいと思います。もう少し詳しくご講演いただいたのですが私の理解したオオマカなポイントをお伝えいたしました。